

メリットをもつ外来種の探索

B02班

○背景

外来種のイメージ

- ・悪者
- ・危険な生き物
- ・在来生物を捕食

負のイメージが大きい

外来種の区分¹⁾(環境省)

特定外来生物=生態系や農林水産業に被害を及ぼすもの

未判定外来生物=人や生態系に影響を及ぼすかどうか実態がよく分かっていないもの

その他の外来生物=法による特別規定なし

着目

デメリットをもたらす外来種がいるならば
メリットをもたらす外来種もいるのではないか?

いい影響を与える外来種²⁾



fig1. ベダリアテントウ

柑橘系果樹を虫害から守る

捕食



fig2. イセリアカイガラムシ

柑橘系果樹に被害を与える

すべての外来種が悪とは限らない

○仮説

仮説1: 外来種は悪というイメージが定着している

仮説2: 外来種のメリットを示すことで人々の外来種に対するイメージが良くなるのではないか

○方法

1. 外来種の調査 (文献)

人・生態系に
メリット

デメリットが
(少)ない

2. アンケートによる意識調査 人々の外来種に対するイメージの変化

イメージ①

メリット

イメージ②

○結果

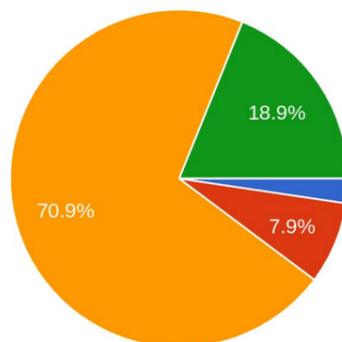
1. ホンビノスガイ



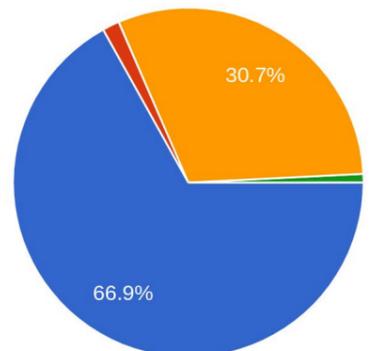
fig.3 ホンビノスガイ
Mercenaria mercenaria

- ・北アメリカ大陸原産⁸⁾
- ・1998年に千葉市で発見、東京湾に定着⁹⁾
- ・底質の浸透性を高くし、藻類の量を増やす¹⁰⁾
- ・環境や生物への悪影響を起している可能性は低い¹⁰⁾

2. アンケート



- 良い
- どちらかといえば良い
- どちらかといえば悪い
- 悪い



- 良くなった
- 悪くなった
- 変わらなかった
- 良い

fig.4 アンケート結果 (母数:127)

左: 外来種の善悪に対する、あなたの意見を教えてください

右: 外来種の善悪のイメージは、画像を見てどのように変化しましたか?

①で「悪い」「どちらかといえば悪い」と回答

→ **89.8%**

②で「良くなった」と回答

→ **66.9%**

→ **仮説1・2を証明できた**

○展望

- ・より多くの人にアンケートを取る
- ・アンケートの改良

- ・有用な外来種をさらに調べる
- ・外来種の有用性、安全性の検証

○参考文献

1) 日本の外来種対策 環境省 <https://www.env.go.jp/nature/intoro/>
2) ベダリアテントウの導入から百年 古橋嘉一
3) 外来種は本当に悪者か? 新しい自然 the new wild フレッド・ピアス
4) なぜ、まもらなければならないの? 環境省
5) リスクとベネフィットを合わせもつ外来植物の戦略的管理 江川 知花

6) 共生の生態学 栗原康
7) 生物多様性と私たち 香坂玲
8) 侵入生物データベース 国立環境研究所
9) ホンビノスガイ漁業の発展過程から考える 東京湾における人と生物と水の関係 濱崎瑠菜、工藤貴史

10) 東京湾の砂質干潟において外来性二枚貝ホンビノスガイ *Mercenaria mercenaria* の生物攪拌が底質およびベントス群集に与える影響 土屋渚 ほか
11) 東京湾三番瀬に侵入した米国由来のホンビノスガイ (*Mercenaria mercenaria*) の個体群動態について 橋詰和慶 ほか